

令和4年度第1回秋田市公立大学法人評価委員会会議録

1 日 時 令和4年7月7日 (木) 15時00分から16時20分

2 会 場 秋田市役所4階 会議兼応接室

3 出席者

【委員】

高橋 誠記 委員長

鑑 隆千代 委員

真鍋 隆 委員

【公立大学法人秋田公立美術大学】

霜鳥理事長兼学長、石井副理事長、毛内理事兼副学長、竹内理事兼事務局長、工藤総務課長、今野学生課長、佐々木企画課長

【設立者・評価委員会事務局】

齋藤企画財政部長、井筒企画財政部次長、稲川企画調整課参事、伊藤企画調整課主任

4 発言録

次第1 開会

事務局

ただいまから令和4年度第1回秋田市公立大学法人評価委員会を開会する。

本日は、5名中3名の委員が出席しており、本委員会条例に規定されている定足数を満たしていることを報告する。

次第2 出席者紹介

事務局

(出席者を紹介)

次第3 あいさつ

(齋藤企画財政部長あいさつ)

(霜鳥理事長兼学長あいさつ)

事務局

議事の進行については、議長である高橋委員長にお願いします。

次第 4 議事 秋田公立美術大学令和 3 年度業務実績について

- 委員長 次第に従い、議事を進行する。
本日は、公立大学法人秋田公立美術大学の令和 3 年度における業務実績等について審議する。
令和 3 年度秋田公立美術大学の業務等の実績について、公立大学法人秋田公立美術大学が説明した後、質疑応答と意見聴取を行う。
- 公立大学法人 (「資料 1 - 1」から「資料 1 - 3」、「資料 3」について説明)
- 公立大学法人 (「資料 2 - 1」から「資料 2 - 4」について説明)
- 委員長 それでは質問、意見等をお願いする。
- 委員 資料 3「論点整理表」の内容を踏まえて質問する。連番 10 について、学生の満足度が著しく低い授業の担当教員が 1 名いたとのことであるが、当該教員に対して、大学としてどのような指導や対応をしたのか。
- 公立大学法人 論点整理表には該当教員 1 名と記載しているが、実際はオムニバス形式の授業形態であり、複数の教員が授業を担当している。大学の対応としては、授業の代表教員 1 名に授業改善計画書を提出させ、授業内容の改善につなげた。
- 委員 連番 24 について、休学者がある程度いることがわかったが、休学の主な理由は何か。
- 公立大学法人 主な理由としては疾病、意欲低下、進路検討等がある。このほか 4 年生で卒業できなかった学生が、前期の履修科目がないために休学する場合などもある。
- 委員 連番 60 について、模擬授業や大学紹介を行った県外高校の茨城県立笠間高校(資料 3「論点整理表」に高校名記載)は、美術系の高校ということか。
- 公立大学法人 笠間高校は美術科もある高校で、毎年、本校を受験する学生もおり、実績として、2 回開催している。
- 委員 県外高校と関わりを持ったきっかけは何だったのか。相手方からの働きかけによるものか。
- 公立大学法人 関わりを持ったきっかけは把握していないが、両校とも毎年のように模擬授業等を受けている高校である。
- 委員 県外から美大に対して関心を持ってくれる学校がこれからも増えてく

れば結構なことである。高校名から笠間高校のほうは美術系の学校ではないと思っていたのだが、いずれにしてもつながりを大事にしてほしい。

委員 続いて、連番 108 であるが、ハラスメントの案件は、パワハラ、セクハラなど、どういった類いのものだったのか。

公立大学法人 相手側からするとパワハラと受け取られるような案件で、コミュニケーション不足が大きな要因であったと認識している。

委員 教員と学生との間で生じた事案だったのか。

公立大学法人 学生とではなく、教員と助手の間に生じた事案である。

委員 パワハラやセクハラは相手方の受け止め次第というところもあり、難しいところもある。

公立大学法人 相手側が被害を受けたと認識すればハラスメント事案として成立する。教員と助手との間で発生したもので、学生が直接関わるような案件ではなかった。

委員 先ほどのハラスメントも含め、C 評価とした項目がいくつかあったが、この中には、再発防止策や改善点の洗い出しが必要な項目もあったのか。業務実績の評価基準に照らし、それぞれの達成度合いを S～D 評価として示しているものと思うが、C 評価の中には、計画を達成できなかった根底に、これまで実施しようとしていた手法自体を見直す必要があるケースもあるのではないか。

もし、そういった項目があるならば、D 評価として内容を見直し、来年以降からの改善につなげるのも一つの方法なのではないか。単に達成度を見て評価するだけでは、進歩がないと思うのだが、そのあたりの対応について、大学としてどのように考えているのか伺いたい。

公立大学法人 ハラスメントについては、予防対策や周知は行っているが、時代の変化とともに、かつては社会で容認されていた言動やふるまいが、ハラスメントとなる場合もある。そうした背景などを含め、当事者である教員に対しては粘り強く指導していきたいと考えている。

公立大学法人 コロナ禍を要因とする C 評価もある。これについては不可抗力という部分が多いが、年度が替わって状況が変化すれば、かなり改善していくと考えている。大学として何も策を講じないというわけではなく、たとえば留学生数の増に向け、学生の後押しをするような施策を実施しなければならないと考えている。

委員 令和 3 年度を含め、これまで大学では授業の手法をオンラインに切り替

えるなど、社会の状況に応じて柔軟に対応してきたと思うが、美術大学は普通の大学と違い、オンライン授業の実施に限界はあるものなのか。実際に美術品に触れたり、芸術家同士対面で話すことが重要で、実施していくに当たっての限界があるものと理解して良いものか。

公立大学法人

ガラス工芸などのものづくりにおいては対面でなければ実施できず、美術大学としてのオンライン授業の実施には限界はある。ただ、オンライン授業の実施にあたり、授業の組み立てを考えることで、教員の意識改革につながった要素もある。また、1、2年生の授業科目については、オンライン授業が良かったという場合もあるが、授業の質を考えると、対面授業の方が望ましいと考えている。

委員

例年以上に評価委員からの質問が多い中、短い期間で論点整理表を作成した大学事務局にお礼を述べたい。

評価委員会ですとまとめる業務実績評価書について、評価委員会から市長への報告ののち、市長から議会へ報告がなされると思うが、大学についてあまり詳しい方々ではない可能性もある。A、Bなどの評価だけを見ると、コロナ禍により実施できなかった項目もあれば、大学側で努力が必要だった項目もあり、そのあたりのコメントはしっかり盛り込んだ報告にしたいと考えている。

地方独立行政法人に関して、文部科学省と総務省で考えているところに違いがあると思う。大学法人の中期計画は、文部科学省のスキームなのだろうが、最近は教学マネジメントや内部質保証、いわゆるPDCAサイクルを回すことが大事であると、文部科学省はしきりに言っている。

中期計画や中期目標の中に出てこないのは当たり前なのかもしれないが、言っていることは良いことで、PDCAサイクルを回すことなどを意識して業務改善にあたっていただきたいと考えている。

委員

大学の将来構想について、以前、原案段階の資料をいただいていたが、成案はまとまったものか。

公立大学法人

将来構想については、学内ですでにまとめており、現在はその実現に向け、取り組んでいるところである。令和7年度からの第3期中期計画期間を見据えたスケジュール感をもっている。

委員

来年度は開学10周年を迎えるが、将来構想としてはさらに10年先を見ていくということか。

公立大学法人

当初の予定では、2030年をゴールとしていたが、現在はもう少し前倒しして検討を進めている。

委員

美大が開学する前段階で、開学の理念や目標、計画等を検討した際には、学内だけでなく、広く外部からの意見も取り入れて検討を行っていたかと思う。

美大の将来構想ともなれば、学内だけでなく、秋田市の財政的な事情や、一般・民間の視点を取り入れて検討しても良かったのではないかと。

国際教養大の将来構想委員会でも、大学は大学としての案を示したうえで、経済人や民間の方など、いろいろな人が関わって決めたはずであり、美大でも外の視点というものも意識してもらえればと思う。

公立大学法人

将来構想については、原案はもちろん大学で作ったものであるが、美大と秋田市と定例的に開催する連携会議の場で、内容について市長を含めて議論している。このほか、新屋振興会や西部市民サービスセンター等との意見交換も行っている。「まちづくりへの貢献」を基本理念の一つに位置づけていることから、学生の地域活動等も踏まえ、広く民間の理解を得ながら丁寧に進めていくべきものと認識している。

公立大学法人

教学マネジメントと内部質保証については、将来構想の中に盛り込んでいる。やはり公立大学法人なので、大学が地域とともに、お互いに活性化していく仕組みで将来構想を考えている。

そういう点からも、秋田市と引き続き連携を取りながらやっていきたいと考えている。

委員長

本日の意見等については、評価委員会事務局で集約し、次回の評価委員会で確認できるよう願います。

議事が終了したので、進行を評価委員会事務局にお返しする。

次第5 その他

事務局

(今後の予定を説明)

次第6 閉会

事務局

令和4年度第1回秋田市公立大学法人評価委員会を閉会する。